

みやびの杜便り 3月号



令和6年2月29日発行

桜の花も葉桜となり、三寒四温を繰り返しながら気持ちの良い季節になりました。先月の発表会には、沢山の皆様にご足をお運びいただきありがとうございました。それぞれの年齢での育ちを見ていただけたと思います。沢山の感想も励みになりました！

この一年、色々な経験を通して心も体も大きく成長したこどもたちです。今年度も、保護者の皆様には多大なご協力をいただき、ありがとうございました。いつも温かく支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。次年度も、子ども達と保護者の皆様、保育士の笑顔輝く園でありますよう頑張ってお参ります。引き続き、ご指導とお力添えをお願いします。

おおきいくじら組さん

ご卒園おめでとうございます！！

「育ち」発見♡



長い子だと0歳児クラスから一緒に大きくなってきた5歳児クラスの子ども達。3月16日には卒園式が行われ、いよいよ巣立ちの日が近づいてきます。入園当初はお父さんお母さんから離れる寂しさで泣いている子ども達を沢山抱きしめました。慣れてくると先生やお友達と心を通わせ、楽しいことがあると大きな声でケラケラ笑い、その笑っている姿を見るだけでみんながたのびて笑っていました。悔しいとき、悲しいときには涙を流し、楽しい嬉しいときには笑顔が輝き、大きくなるにつれて友達同士での絆が深まり、お互いを認め合い思いやる姿も見せてくれます。

そんな「強くて優しいみやびっこ」に育ってくれた子ども達が、もうすぐピカピカの一年生になります。「小学生になるって、どんな気持ち？」と聞いてみると「楽しみ！！」「嬉しい！！」という言葉と一緒に「みんなとバイバイするのは寂しい」「ドキドキする」「お勉強出来るかな？」と不安な表情も見られます。「新しい場所に行くことは、大人でもドキドキするんだよ」「不安なときにはいつでもそばにお父さんお母さんがいてくれるからね」と伝えていきます。新しい世界に希望を持ちワクワクしている今の時間を子ども達と共有して、残り一ヶ月を大切に過ごしたいと思います。「はばたけ、みやびっこ！！みんな大好きだよ！」



- 社会福祉法人 雅福社会
教育・保育理念「愛の空間で心身ともに豊かに、みやびやかに育つ」
法人理念 1, 生命の尊厳と人間愛を基本に子どもに奉仕
2, 子どもの最善の利益と、質の高い教育保育の提供
3, 地域との連携を図り、社会貢献
4, 感謝と支え合いを礎に、職員の幸福を目指す法人運営

誤飲事故にご注意ください

先日、小学校1年生が給食のうずらの卵を詰まらせて亡くなるという事故が報道されています。子ども達の喉は小さく、異物が混入しても吐き出す力が弱いので、喉に詰まってしまうことがあります。丸くてつるつるしているものは特に喉に入りやすいです。白玉、ブドウ、プチトマト、うずらの卵等は園での提供はなかったり、提供するときには小さくカットされています。ご家庭でもご注意いただき、お弁当会の時も、小さくて丸い物が入っていないか、確認していただきますようお願い致します。

★お弁当会が変更になっています。

3月は第三水曜日が祝日のため、**3月21日(木)**にお弁当会を行いますので、よろしくお願い致します。

お知らせとお願い

- ★より良い教育保育のために、園に対するご意見・ご要望がありましたらどうぞお寄せください。なお、2月は園に対するご意見はありませんでした。
- ★いつも第三土曜日の午後を職員研修や教材準備、書類作成の時間に充てさせていただきます、ありがとうございます。**3月16日(土)**は**第9回卒園式**となっております。大きいくじら組の巣立ちの日を職員みんなでお祝いしたいと思います。家庭保育の可能な方はご協力をお願い致します。
- ★**フードドライブ**にご協力いただきありがとうございました。3月1日に**社会福祉協議会**へ届け、必要な方の支援につなげていただきます。

